

令和2年 年末市長あいさつ

令和2年12月25日（金）

令和2年の仕事納めにあたり、本年の締めくくりとして、職員の皆さんに私の気持ちをお伝えします。

今年は、新型コロナウイルス感染症が全国に拡大し、国からの小中高等学校の一斉臨時休業の要請や緊急事態宣言の発出により、市民生活や地域経済が大きな影響を受け、企業活動や職場環境など、社会が大きく変化した1年でありました。

津市では、このような変化に対して、感染予防対策をしっかりと継続しながら、市民の皆さんの不安の解消、家計や事業者支援、さらに、コロナありきの新しい生活様式に対応していくための環境整備など、様々な感染症対策を最優先に取り組んだ1年であったと思います。コロナ対策にどのように取り組んでいくのかは、これまで誰もが経験したことのない初めてのことであり、感染状況やその影響が日々めまぐるしく変化するなかで、即断即決を求められたわけですが、市民の皆さんのお困りごとを何とか支援したいという気持ちで、皆さんはそれをしっかり形にしてくれました。

特に、特別定額給付金については、多くの自治体が対応に苦慮するなか、いち早く早期給付に向けた体制を整え、会計年度任用職員も含め、まさに総力を挙げて市役所一丸となって取り組み、膨大な事務処理を迅速・的確に進めることができました。その結果、全国でもトップクラスのスピードで市民の皆さんのもとへ給付金をお届けすることができました。また、保育所については、学校の休業要請があったなかでも、仕事をお持ちの保護者のために、感染症対策に細心の注意を払いながら、休園することなく子どもたちの保育をしっかりと続けてくれました。

このように全ての職員の皆さんのこの1年の頑張りに感謝をしながら、ウィズコロナ社会のスタンダードに合わせて来年からどのように取り組んでいくのかということにつなげていくためにも、今年取り組んできたことを少し振り返りたいと思います。

今年の津市のコロナ対策は、感染拡大に伴う状況の変化を的確に把握しながら、それぞれの部局で取り組んできましたが、時間の流れに沿って、次のように大きく分けて3つありました。

①感染拡大への不安や学校休業への支援

- ・コロナ対策に係る市民への積極的な情報発信（新型コロナウイルス感染症対策本部会議や市ホームページによる情報発信）
- ・市民生活相談案内窓口・事業者向け相談窓口の設置
- ・放課後児童クラブ・放課後等デイサービス事業所等への緊急支援物資の配布 など

②市民生活や地域経済への打撃に対する家計・事業者支援

- ・給食費3か月分の無償化・子育て世帯家計支援金（給食費3か月分相当額）の交付
- ・水道料金基本料金の2か月分無料化

- ・臨時休業措置等に伴う家計特別支援金の交付
- ・売上が減少する事業者への事業継続支援金の交付
- ・「津がんばるマルシェ」、「久居版津がんばるマルシェ」の実施
- ・観光・イベント事業者、公共施設指定管理者への支援
- ・文化芸術団体等への支援 など

③新しい生活様式の定着・ウィズコロナ時代の社会への対応

- ・G I G Aスクール構想の前倒しによる小中学校の児童・生徒への1人1台パソコンの配置
- ・幼稚園、保育園、小・中学校保健室、放課後児童クラブ、公民館等における空調設備の増設・改修
- ・避難所における感染症対策とトイレの洋式化
- ・公共施設へのサーモグラフィカメラの設置
- ・リモートワーク・ICT教育環境の整備
- ・感染予防を徹底した救急対応・ごみ収集対応
- ・消費拡大に向けたプレミアム付商品券の発行
- ・三重とこわか国体・とこわか大会の会期前開催・会場変更 など

このように、数多くの市独自のコロナ対策を取り組むとともに、モーターボート競走事業からは、社会貢献として当初予算の一般会計への20億円の繰り出しに加え、コロナ対策事業への充当や必要な対策を実施するための備えとして、さらに10億円の繰り出しがありました。それぞれの部局がそれぞれの分野で進めていくべきコロナ対策について、全ての市民に寄り添いながら知恵を絞り、スピード感を持って進めてくれました。

コロナ対策以外の事業も着実に進みました。

コロナの感染拡大でオープンを延期していた久居アルスプラザは、10月1日にグランドオープンしました。オープン後、1か月で2万4,657人もの方にご来館いただいています。

市立5つ目の芸濃こども園も4月1日に開園しました。芸濃地域の3つの幼稚園と保育園が1つになり、200人を超える子どもたちが元気に通っています。

また、地域の新たな施設として、7月1日に旧新町幼稚園跡地に複合的な機能を集約した新町会館を新築移転し、10月5日には旧修成幼稚園園舎を活用した橋南公民館をオープンしました。いずれの施設も地域の多くの方に講座などご利用いただいています。

昨年からの取組を進めている営農会議については、コロナ禍にあっても会議を開催して5者の連携をしっかりと継続させました。

大規模災害時には、進捗状況によってまちの復興を妨げることにもなる地籍調査については、国の先進的技術による基本調査を津市で実施したことにより、測量や境界立ち合いの期間が大幅に短縮され、津市の地籍調査の円滑化・迅速化につながりました。

三重短期大学では、新たな取組として、令和3年4月から新たに食物栄養学科を開設することとし、ゆっくりと時間をかけて学びたい方への学びの場の提供として、法経科第2部での長期の履修を可能とする制度を導入することとしました。

また、10月に映画「浅田家！」が公開され、様々なシティプロモーションを展開した結果、映画のロケ地となった専修寺やパネル展には全国から多くの方に津市にお越しいただき、まちの活性化につながりました。

一方で、これまでの行政手続きの中で、公正・公平な業務の執行がゆがめられるような事例が明らかになりました。これについては、現在、全容解明に向けて調査を進めているところです。

職員の皆さんが日々職務を遂行するうえでは、非常に困難な局面や様々な課題に向き合うこともあると思います。しかしながら、どのような場面にあっても、公務員としての高い倫理観を持ち、公正・公平に毅然とした態度で職務を全うしてください。

最後に、職員の皆さんには、1年間、本当によく頑張ってくださいました。再びコロナの感染が全国的に拡大するなかで、来年も引き続き、コロナ対策に取り組んでいくこととなります。年末年始は、今年1年頑張っていたご自身を労り、心身をゆっくりと休めてください。また、休暇期間中にもかかわらず、職務に従事をしていただく職員の皆さんは本当にご苦労さまですが、健康には十分気を付けていただきますようよろしくお願いいたします。

職員の皆さん、そして、ご家族にとって、来年が本年にも増してより良い年となりますことをお祈りいたします。

1年間、本当にご苦労様でした。